A4サイズ:1ページ、別添あり

令和3年10月18日

報道関係 各位

進化型実務家教員養成プログラム 実施責任者 鵜飼 宏成

T: 052-872-5733

名古屋市立大学事務局教務企画室

室長 森川 英俊

2: 052-872-5801

2021年度 進化型実務家教員養成プログラム (TEEP) シンポジウム、ワークショップの開催について

名古屋市立大学を中核校とするコンソーシアムが2019年度文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」補助事業として承認され、高度人材育成への関心が高まる中、産業界の実践知と大学の学術知を融合させ、両者の架け橋となる実務家教員の育成や活用が注目されています。

三年目となる本年度の「シンポジウム」では、産業界と大学が協同した人材養成に焦点を当て、 わが国の今後の**人材養成における実務家教員の使命**を検討し、「ワークショップ」では、TEEP及び 他コンソーシアムの修了生の参加を得て**養成プログラムの意義**について語っていただきます。

この企画を市民の皆様に広く知っていただきたくご案内申し上げますとともに、是非ご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 日 時 令和3年11月18日 (木) シンポジウム 14:00~16:30

ワークショップ 18:30~20:00



2 概 要 別添のとおり

3 開催方法 ZOOM によるオンライン開催

4 申込方法 進化型実務家教員養成プログラム (TEEP) (https://teep-consortium.jp/) に アクセスのうえWebサイト上にて申込、あるいは申込書をダウンロードして、必 要事項を記入しメールに添付して送付してください。

5 受付開始 令和3年10月18日(月)から

6 定 員 150名(先着順)

7 参加費 無料(ただし、通信料は自己負担)

8 取材申込 担当者までご連絡ください。(担当:伊藤・長澤 ☎052(872)5882)

E-Mail: teep_office@sec.nagoya-cu.ac.jp

※取材希望日の2日前(土日祝日除く)までにご連絡お願いします。

以上





進化型実務家教員養成プログラム

Training for Emerging Educators and Practitioners

8 シンボジウム& ワークショップ

- 名古屋市立大学を中核とするコンソーシアムが2019年度、進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)を文部科学省に申請し、国の補助事業 として承認されました(連携校:岐阜薬科大学・高知県立大学・中京大学)。
- Society5.0(超スマート社会)に対応した、高度人材育成への関心が高まっています。その鍵を握るのが、産学の架け橋となる実務家教員です。

シンポジウム

14:00~16:30 参加費 無料 定員:150名(先着順)

10/18 申込受付開始

URL ▶ https://teep-consortium.jp 上記URL及び右記QRコードのWebサイトより申込書をダウンロード して、必要事項をご記入の上、メールに添付して送付してください。

メール送付先 teep_office@sec.nagoya-cu.ac.jp 件 名 TEEPシンポジウム申込



これからの大学のあり方を探求す

3年目となる本年度のシンポジウムでは、産学連携による大学変革のより具体的な可能性を探るべく、産業界と大学が協同した <mark>人材</mark>養成に焦点<mark>を当て、研究者、実務家教員、企業関係者とともに、わが国の今後の人材</mark>養成にお<mark>ける実務家教員の使命を検討します。</mark>

開会挨拶14:00~14:05 郡 健二郎

実務家教員の課題と展望 ~社会の知の担い手として~

学校法人先端教育機構社会情勢大学院大学



[テーマ] 「経営専門職と実務家教員が担う人材養成について」

講 師 矢野 昌彦 名古屋産業大学 現代ビジネス学部 経営専門職学科長 教授



第2部

パネルディスカッション 15:20~16:25

□→□ 「実務家教員の最前線

名古屋市立大学 医学研究科(先進急性期医療学分野)教授

吉住 隆弘 中京大学 心理学部:心理学研究科 教授

実力 中京大学 スポーツ科学部・トレーナー学科 教授

ファシリテーター

宏成 名古屋市立大学 副理事・大学院経済研究科 教授 TEEPコンソーシアム実施委員会 委員長

ワークショッフ

18:30~20:00 | 参加費 無料 | 定員:50名(先着順)

10/18月 申込受付開始

URL ▶ https://teep-consortium.jp 上記URL及び右記QRコードのWebサイトより申込書をダウンロード して、必要事項をご記入の上、メールに添付して送付してください。

メール送付先 teep_office@sec.nagoya-cu.ac.jp 件 名 TEEPワークショップ申込







3年目となる本年度ワークショップでは、TEEP修了生に他コンソーシアムの修了生の参加を得て、 受講のきっかけや養成プログラムを通じて得たことを語っていただきます。



開会挨拶18:30~18:35 伊藤 恭彦

名古屋市立大学 理事・副学長 大学院人間文化研究科 教授 TEEPコンソーシアム運営委員会 委員長



[--] 「実務家教員養成プログラムを修了して

- ①なぜ実務家教員を目指したのか。
- ②経験を伝えるために必要なことは。
- ③実務知を活用した産学協同教育実践とは。



